

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H27.9.15	市政懇談会 (H27)	田瀬	総合政策部 東和総合支所	地域づくり課 東和総合支所地域振興課	これからのコミュニティ会議存続のあり方について	今後の山村地域の小規模なコミュニティ会議の存続について市ではどのように考えているのか。	東和各地域でも同様の状況にあり、その要因は人口減少にあると考えている。東和地域では合併時の人口1万4百人から現在9千2百人に減少しており、田瀬地区でみると10年間で96人減少している。 ひとつの考え方として他地区と一緒にという考え方もあると思うが、田瀬地区は田瀬ダムやレイクリゾート事業などで県内でも有名なことから頑張っってコミュニティを維持していただきたいと思っている。市としては現在のコミュニティが維持できるようこれまで同様に地域づくり交付金や支援体制を強化し地域づくり活動が無理なく進められるよう支援していきたい。 また、市では今後、地域づくりの人材育成の一環としてファシリテーターの養成を予定しており、地域における合意形成を促すような仕組みづくりを構築していきたい。 (ファシリテーターというのは会議の際に出席した人たちからうまく意見を聞きだすという手段。) 小規模なコミュニティの存続の考え方については、田瀬地区を他の地区と統合するということは全く考えていない。介護保険制度が変わろうとしており、介護保険の対象だった要支援1、2の介護サービスを地域で実施することにより国からお金がでる制度となる。地域で支えあう制度をこれから作るという時に田瀬地区が他の地区と一緒に実施するというのは厳しいと思う。市としては広大な田瀬地区を他地区と統合してとは全く考えていない。皆さんが田瀬の地域づくりを自分たちでやりたいというのであれば市としては支援していく考え方でいる。
2	H27.9.15	市政懇談会 (H27)	田瀬	建設部	都市政策課	予約乗合タクシーの利用策について	土日を含めた毎日の運行とし、予約についても当日予約可能として高齢化率の高い田瀬地域の交通弱者を救済するよう提案する。	現在、田瀬地区の公共交通は市営バス田瀬線は平日1往復、土日祝日2往復、予約乗合タクシーは月、水、木に運行している。平成26年度1便当たり乗車人数は市営バス田瀬線1.44人、予約乗合タクシーは6.94人と予約乗合タクシーが市営バスに比べますまず利用されている状況。 現在、東京大学のオンデマンドシステム導入に向けて検討しており、当日予約も可能で効率も良いということで来年度に地域を絞って試験運行したいと考えており導入した際の経費比較等を含めて検討している。 来年度の試験運行にあたって、どういった事業者が運用するのか、ひとつあるいは複数の事業者とするのか、運行は別会社とするのか等の検討が必要。コストを抑え利用しやすいシステムとするのであれば真剣に考えなければならない。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
3	H27.9.15	市政懇談会 (H27)	田瀬	商工観光部 東和総合支所	商工労政課 東和総合支所地域振興課	企業誘致について①	地元に残る若い人が少ない。地域に若い人が働く場所を積極的に増やしてほしい。田瀬にある誘致企業㈱北信について、従業員が週3日休んでいる状況のようであり将来が心配である。存続できる手立てはないものか伺いたい。	昔は製造業が企業誘致の中心だったが、現在国内の製造業は地方に新規の工場を作るという動きはなくなり今ある工場を増設するという状況。物流業は花巻市は交通の便が良いため動きがあるが、トラックの場合運転手が不足している状況から運転手を確保できる地域に立地したいというほど人手不足な現状。市では市長のトップセールスで企業のトップとのネットワークを構築していただいており、これを十分活かし成果につなげていきたい。地元の企業については、工場を拡充し従業員を増やした企業には支援をすることとした。去年、今年で7社で工場造成により200人を超える新規雇用が生まれた。こういった動きが地域で続くよう期待している。地域の雇用状況は、7月の有効求人倍率が1.21で一昨年7月から1倍を超えている状況が続いており、市内の製造業は募集しても応募がない慢性的な人手不足という状況。希望する仕事とミスマッチということもあることから、その対策についても考えていく必要がある。 ㈱北信は、東和地域でも古い立地企業であり最盛期には70～80人の雇用があった。大手企業との取引もあったと伺っている。存続できる手だてについては、経営者の方がどのように考えているかが重要。㈱北信は様々な加工技術を保有する企業であることから幅広い取引があり、取引を維持するための営業活動等に対する経営者の考えなどをお聞きしていきたい。 以前はバナソニックと取引があったということだが、現在大手家電は厳しい状況で、東京から遠い田瀬の会社に付加価値がそれほどない商品の製造を発注するのは難しいと思う。以前のように多くの人を雇用するのは厳しいというのが実態だろうと思う。
4	H27.9.15	市政懇談会 (H27)	田瀬	農林部 商工観光部 健康福祉部 東和総合支所	農政課 商工労政課 長寿福祉課 東和総合支所地域振興課	地域での起業について	コミュニティ会議において、地域で高齢者への介護サービスの提供等、福祉の分野で起業しないかという動きがある。福祉の分野は利用する方の人数や取組が広範囲にわたるということで他の地域との連携も必要ということで模索していく動きがあるということをお伝えする。	要するにやる人がいるかどうか。それを踏まえたうえで可能性はあると思う。 6次産業化とよいうが例えば皆さんが作った市内の既存生産者との競争になるだけでは経済的な効果は小さい。県外にも売れるものを作れば花巻における経済効果も大きくなる。 大迫のエーデルワインが国内外のコンクールで受賞するなど評価が高い。地元のぶどうにこだわり生産しているが、高齢化等から原材料となるぶどうの生産量が減っている。東和地域はぶどう栽培に適した土なので場合によっては東和地域でぶどうを生産する可能性はある。また、ぶどうを使ったお菓子を作りたいということで、例えば大迫のぶどうを使ったお菓子を全国から募集しコンクールを実施するなどのアイデアを大迫で考えている。 様々なことを可能性として考えていきたい。
5	H27.9.15	市政懇談会 (H27)	田瀬	東和総合支所	東和総合支所地域振興課	旧田瀬小学校講堂及び旧大野小学校講堂について	旧田瀬小学校講堂(小倉)、旧大野小学校講堂(白土)が老朽化により床が抜け落ち、屋根も積雪などでどうなるか分からない状態。何とかならないものか。	地域の物が入っていたように記憶しているが、まずは現場を確認する。
6	H27.9.15	市政懇談会 (H27)	田瀬	建設部	道路課	県道下宮守田瀬線について	県道下宮守田瀬線の田瀬ダム堰堤から宮守側について、冬期間、日陰のため積雪が溶けず凍結する。また道幅が狭く除雪後などは自動車のすれ違いができない。何とか考えていただきたい。	昨年この場で要望をいただき、すぐに県へ話をしたが財政状況が厳しいということであった。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
7	H27.9.15	市政懇談会 (H27)	田瀬	総合政策部 建設部	秘書政策課 地域づくり課 都市政策課	空き家について	民生委員として約80件受け持っているが、2割の17件が空き家の状況。こういった状況は全国的なことだと思うが市長の考えをお聞きたい。 また、地域に草が生い茂り庭も荒れている空き家がある。そのような管理は地元でしなければならないのか市にお願いできるのかお聞きたい。	ご指摘のとおり全国的な問題となっている。空家対策法が成立したがこれは危険な空き家や近所に迷惑をかけている空家の所有者に市が勧告し正当な理由がなく勧告に係る措置を講じなかった場合は市で取り壊して費用を所有者に請求できるというもの。問題は家が老朽化し危険なだけでは適用されない。防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることが要件となっており、周囲に何もなく1軒だけある空き家にはこの制度は使えない。また、市が取り壊し費用を本人に請求しても払ってもらえない可能性が強い。そうすると市民のお金を使って取り壊すというのはなかなか難しい。 また花巻市で空き家バンクを始めた。空き家バンクを活用した定住促進に実績のある大分県竹田市に職員を派遣し勉強させた。街中にある空き家は借り手がすぐ見つかるが、農村部の周辺に草が生い茂っているような空き家はなかなか借り手がない。花巻市では定住にあたって家を借りの場合、または購入する場合に補助しているがそれでもこのような空き家の借り手は見つからない状況。 草を刈るということについて、本当はコミュニティ会議でやってもらいたい。だが今はコミュニティのお金は人件費に使えない。地域の支え合いで必要であれば人件費も含め必要なお金が使えるよう制度を変えるべきと考えている。 →地元と総合支所で相談する
1	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	教育部	こども課	花巻市の子育て支援策について	子ども子育て支援法に基づく、花巻市の子育て支援策は今後どのように進められるか。	新たに策定した「イーハトーブ花巻子育て応援プラン」は、昨年度までの次世代育成支援行動計画を引き継ぎ、さらに待機児童解消、13事業の推進でその中の利用数、どれだけ確保できるのか市で調査した内容が盛り込んだ形となっており、今年度から5年間の計画となっている。保護者だけが子育てを担うのではなく、地域社会全体で支援していく体制づくりが重要であり、子どもが健やかに育つ環境づくりを総合的に進めて行くため、基本理念と3つの基本目標を掲げ各種施策を分けて、107の事業を市全体で進めていく内容になっている。保育園への入所についての待機児童は入所を希望する園に入れない状況で、待機児童を解消するための受け皿を確保する事業を盛り込んでいる。国が示す13事業の内、市は放課後学童クラブの整備を重点に置き、病児保育事業等5年間の中で取り組みを進めていきたい。また、今年度、新規事業として第3子以降の保育料の負担軽減し、小学生の最年長者を第1子と数えて第3子以降の保育料を1/2補助している。また、妊娠期から就学に至るまでの子育てに関する制度の情報を入れた子育てガイドブックを作成し配布することを検討している。更に、認可外検診の補助、地域子育て情報ネットワーク事業を考えていきたい。
2	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	教育部	こども課	南城学童クラブの施設拡充について	南城学童クラブは、施設が手狭であり生活環境が低下している。かつ今後も児童数の推移からみても学童クラブ利用希望者は大きく減らないと見込まれることから、南城学童クラブの施設拡充が大きな課題となっている。	南城学童クラブに入所している児童数が増えており、現在83名。内訳は第1学童55名、第2学童が28名となっている。施設が狭いため5年間の中で整備をしていかなければならないと考えていたところ、学区内で認可保育園を運営している社会福祉法人から学童クラブを新たに実施したいとの話があった。そこで南城学童クラブ運営協議会と相談し、地域の方とも意見交換が必要と考えている。また、子どもたちが快適になり、支援者の方が指導しやすい環境になるように努力する。なお、新たな学童クラブの開設は平成29年4月を予定しており、来年度までは不便をお掛けするがよろしく願いたい。
3	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	教育部	こども課	南城学童クラブの施設拡充について②	南城学童クラブでは、過去5年間定員80名を超えないように面談をしたりして抑えている。今年から子ども子育て支援法で6年生まで入所可能となったが、4年生までとしているが、それでも、今年も定員を超える申込があったため個別に面談等をして辞退していただいた。再来年にびっころに40名ほど入所できると話を聞いたが、試算では、今後の5年間で更に120名程度増える見込みのため全然足りない。第2学童は7.5坪とても狭い施設に25人の定員はいかがなものか。また、中古のプレハブで老朽化している。プレハブでもいいから定員数を増やして欲しい。保育園だけではなく学童にも隠れ待機児童がいるのが現状をわかっていただきたい。	南城学童クラブの施設が手狭なことは承知している。現時点で、びっころについての定数も、スペースもはつきり決まっていないが緩和策になるのではないかと思っている。南城学童クラブについては、市内の学童・放課後児童クラブの中で改修の整備の必要は上位に入っている。意見があった数字も参考としながら検討していく。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
4	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	商工観光部	観光課	同心屋敷の屋根の修繕につ いて	旧今川家の同心屋敷の屋根が草が生え、底が抜けている。県外の方が沢山来る。今後の修繕の予定について伺いたい。	南側にある旧平野家は平成21年に一部補修を行った。北側の旧今川家は2年前に業者に見積もりを取った際、カヤを組む職人がいなく、東日本大震災の影響で材料のカヤの確保が難しいと言われた。現在は、県内でも職人の育成が進められ、材料のカヤも輸入で調達している部分もあり2年前よりは材料の確保ができる状況となっている。近く大掛かりな修繕が必要と認識している。今後、専門家に現況を確認いただくことも検討し、市の有形文化財として保護の適切管理を考えている。
5	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	総合政策部	秘書政策課 地域づくり課	市政懇談会の意見について	市政懇談会で意見したものが、その後どのように進展しているのかホームページを検索してみたが、見つからなかった。市長、市の主要幹部に思いを伝えているが結果が分からず残念。意見を言うのを考えなくてはいけないのかなと思う。	懇談会が終わった後、翌月の末頃までに懇談会の記録をホームページに掲載し、各地区振興センターでも閲覧可能となっている。また、3か月単位で意見に対する検討の結果を担当課から報告をもらい進捗管理をしている。年度末の状況については、翌年度の初めに公表している。 市のホームページについては、必要な情報が探しずらかったため、先日、修正したがまだ探しづらい。今後は、外部に依頼して少し時間はかかると思うが必要な情報が探しやすくなるように改善していきたい。
6	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	総合政策部	秘書政策課	市のホームページについて	花巻市のホームページが見やすい。北上に比べてタイムリーにでている。他の市町村に比べてよいと思う。	新着情報については、早く載るようになり市の担当職員は大変良く頑張っている。ただし、まだわかりづらいところもあり、更に改善していきたい。
7	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	市民生活部	生活環境課	岩手中部水道企業団について	昨年度から上水道業務が岩手中部水道企業団に移り対応が悪くなったと感じている。	この旨は、岩手中部水道企業団に伝える。
8	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	教育部	教育企画課	南城中学校の校庭について	南城中学校の校庭は水はけが悪い。昨年度は南城小学校の校庭を整備していただきとてもよくなった。中学校の整備もお願いしているが、いつ頃どのような形で整備していただけるのかお伺いしたい。	10月に発注し、11月にブル脇のトイレから150m工事をする前提で準備を進めている。
9	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	教育部	こども課	保育園の入所について	南城保育園に兄弟一緒に入所できなかったという事例を聞いたことがあるが今も同じようなことがあるのか。	兄弟でも別々の保育園に入所しているケースはある。0から2歳児の定員が満杯でどうしても仕事の都合等で預けなければならない場合、保護者の了解を得て別々の保育園への入所の手続きをしている。兄弟が同じ保育園と一緒に入所できるようにできる限り調整していきたい。
10	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	商工観光部	観光課	同心屋敷の修繕について	同心屋敷の南側の柵が非常に傷んでいる。現状を見て認識してもらいたい。	同心屋敷については、現地を確認する。
11	H27.9.25	市政懇談会 (H27)	花南	商工観光部 建設部	観光課 都市政策課	中心市街地の活性化(観光対策)について	花巻まつりで今年はギネスに挑戦ということで全国的に発信できたと思うが3日間だけではもったいない。文化と経済・産業のまちということでリンクしながらそういうものが中心市街地にあれば潤うのではないか。花巻まつりの本格的な展示物が常時見れるような施設のようなものがあれば中心市街地も活性化し、更に観光客が増えるのではないか。	意見いただいたような建物を仮に造るとすれば数十億の予算が必要となる。建物を造ることによって中心市街地に滞在型の観光客が増えるのであれば経済的にも意味があるかもしれないが多分そういうことにはならない。